

感染症定期報告の報告状況(2005/9/1~2005/12/31)

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/5	50403	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肉水	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50404	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	カザミノАнд	ウシノ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50405	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥痘そうワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン ジフテリアトキソイド ワイル病秋やみ混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ポリペプトン	ウシノ乳	ニュージーランド、中国	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50406	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 弱毒性風しんワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシノ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50407	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ心臓透析液	ウシ心臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50408	武田薬品工業株式会社	インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/5	50409	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ニワトリ胚細胞	ニワトリ胚	日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50410	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	トリプシン	ブタ臓腑	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50411	武田薬品工業株式会社	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペプシン	ブタ胃	アメリカ合衆国	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50412	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バクトカジン	ウシの乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50413	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	①②③アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア④⑤⑥ニュージーランド⑦アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50414	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スキムミルク	ウシの乳	アメリカ合衆国、日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50415	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風トキソイド 沈降破傷風トキソイド 降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50416	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/5	50417	武田薬品工業株式会社	痘そうワクチン 乾燥痘そうワクチン	ウシ皮膚	ウシ皮膚	日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50418	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン	筋アデニール酸	ウマ筋肉	アメリカ合衆国	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50419	武田薬品工業株式会社	ワイル病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギ血液	日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/5	50420	武田薬品工業株式会社	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血清	日本	有効成分	無	無	無			
2005/9/5	50421	東菱薬品工業株式会社	ヘモコアグラージ注射液	ヘモコアグラージ	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
2005/9/6	50422	ファイザー株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの腸	米国	有効成分	無	無	無			
2005/9/6	50423	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン インフルエンザHAワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン インフルエンザワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	オランダ	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコールを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。
2005/9/6	50424	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	アメリカ、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコールを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	TRENDS in Cell Biology 2005 Feb;15(2)	PrPcがPrPscに変化する可能性のある細胞部位についての研究。小胞体はプリオン病の遺伝子における変異型PrPへの転換において主要な役割があるが、原型質膜へのPrPcの輸送とそれに続く吸収がプリオン病の感染型におけるPrPcの転換に要求されていると考えられる。さらに、PrPcとPrPscが関与している膜領域もまた、変換のプロセスに重要であると考えられる。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Virology 2005;79(9):5259-71	完全なウシプリオン蛋白(BoPrP)を表現するトランスジェニックマウス(Tg)は伝播のバリアーなしにBSEプリオンを連続的に遺伝させる。Tgマウスはヒツジスレーピープリオンにも伝播のバリアーを示さない。このことは、ウシがある種のヒツジスレーピーのプリオンタンパクに高い感受性があることを示唆している。種間のプリオン伝播に観察される種間バリアーの大部分は、株間バリアーであると考えられる。Prpの配列の相違が、異なる種のプリオンの伝播を必ず防御するわけではな
2005/9/8	50428	日本ビーシージー製造株式会社	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	トリインフルエンザ	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2189-91	インフルエンザA(H5N1)ウイルスが大流行中の2003年12月、タイの動物園でトラ、ヒョウが高熱と呼吸器の症状で死亡した。これはH5N1型の宿主域が拡大され、ネコ科動物に対して強い病原性を持つようになったことを示唆するかもしれない。
											トリインフルエンザ	Emerging Infectious Diseases 2005;11(11):699-701	2004年10月、タイでの2度目の鳥インフルエンザ(H5N1)の大流行。生のニワトリの死体の餌を中止した後も発病が確認されたことになる。トラートラ間の水平伝播による感染が疑われる。
2005/9/8	50429	帝国臓器製薬株式会社	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国、ブラジル	有効成分	有	無	無	ニパウイルス	バン格拉ディッシュ国際下痢疾患研究センター-HP (ICDDR, B)2004年	2004年2月から4月にバングラディッシュでのニパウイルスのヒト-ヒト感染伝播についてバングラディッシュ国際下痢性疾患センター(ICDDR)からの報告。36名が感染確定、27名が死亡。患者に1回曝露しただけで死亡した例も2例ある。
											コロナウイルス感染	European Respiratory Journal 2005;25(1):12-14	中国において、SARS-CoVのRT-PCRの陽性反応がウイルス学的にSARSと確定された45名の患者について。RT-PCR検出で陰性になるまで平均13日であった。陰性となるまで個人環境の管理が重要となる。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/8	50430	帝国臓器製薬株式会社	日局カリジノゲナーゼ	カリジノゲナーゼ	ブタ膀胱	中国	有効成分	有	無	無	トリインフルエンザ 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 トリインフルエンザ 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 トリインフルエンザ 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 トリインフルエンザ レンサ球菌感染	WHOホームページ'2000年5月 ProMed20050704-0040(Direccao-Geral de Saude) Infection in Medicine 2005:118 The Jakarta Post Jul 26 2005 Reuters News 2005年7月29日 The Jakarta Post Jul 26 2005 WHOホームページ'2005年8月3日	ヒトH5N1感染が、2005年1月から4月に北部ベトナムで発生。2004年のアジアの他の地域や同時期に南ベトナムで発生したものといくつかの点で異なっていることが考えられる。相違点としては、北において、南より、症例集積が事例数が増加傾向、発生期間が延長、臨床症状のない感染が検出され、感染の年齢層の広がりや死亡例が減少しているなどがあげられている。これはウイルスが抗原的に多様化していることを示唆している ボルガル初のvCJDの報告。患者は12歳の少年で、ヨーロッパ及び同盟国によるCJD共同研究グループ(EUROCJD)のvCJD可能性例の診断基準を満たし、イギリス国立CJD監視機構により確認された。患者に渡英歴はなし。 厚生労働省は2005年2月4日、日本で初の変異型ヤコブ病(vCJD)を確定したと公表した。この日本人男性患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1か月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。 インドネシア政府は、ジャカルタ郊外でH5N1型鳥インフルエンザにより死亡した家族は鳥の糞に含まれる鳥インフルエンザウイルスによって感染した可能性があると発表。 2005年7月、スペイン保健省はスペインにおける初のvCJD可能性症例を発表。患者は2004年11月頃兆候を示し、2005年7月に死亡している。患者は輸血歴、英国への渡航歴等の特異的リスク因子はなかった。確定のために英国の国立CJDサーベイランス部へ調査を依頼中。結果は8月末。 インドネシア政府は、ジャカルタ郊外でH5N1型鳥インフルエンザにより死亡した家族は鳥の糞に含まれる鳥インフルエンザウイルスによって感染した可能性があると発表。 206例中38例が死亡と報道。ほとんどの患者は感染前に病気のブタやヒツジを屠殺している。現在のところヒト-ヒト感染の証拠は見つかっていない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/8	50431	日立化成工業株式会社	-	アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分	有	無	無	HIV	Infection Diseases Weekly Report Japan 2005年第5週	<p>2005年2月、ニューヨーク市保健衛生局は、抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が2004年12月、高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行したと発表。本症例により注目すべき点は、薬剤耐性のエイズウイルス感染症が確認されたこと、また、疾患の進行が急速であることがあげら</p> <p>2005年2月、ニューヨーク市保健衛生局は、抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が2004年12月、高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行したと発表。本症例により注目すべき点は、薬剤耐性のエイズウイルス感染症が確認されたこと、また、疾患の進行が急速であることがあげら</p> <p>44頭のカニクイザルが平成17年2月17日にフィリピンから輸入され茨城県にあるサル輸入検査施設に輸入された。このうち4頭から2月24日に細菌性赤痢菌が分離された。また、3月4日に別の1頭からも菌が分離された。</p> <p>今期間(H17年1月3日~4月3日)における法定報告に基ずく新規のHIV感染者報告数は207件で前年同時期の新規報告件数(150件)より増加している。</p> <p>H15年9月、日本においても多剤耐性Salmonella Newportが存在していることが確認された。患者は7歳男児。17種類の抗菌剤感受性試験を行い、11種に耐性を確認。耐性パターンは米国分離されている多剤耐性菌のものを類似していた。遺伝子検査の結果、米国で分離されている多剤耐性菌のCYM-2遺伝子を保有していた。</p> <p>平成15年2月にシカ肉を喫食した4名が急性肝炎を発症した。冷凍生シカ肉からE型肝炎ウイルスが検出し、原因と決定した。特定の食品摂取とE型肝炎ウイルスによる食中毒の直接的な関係が証明された初の本邦例。</p> <p>2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。</p>
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	
											細菌感染	Infection Diseases Weekly Report Japan 2005年第8週	
											HIV	Infection Diseases Weekly Report Japan 2005年第16週	
											サルモネラ	感染症学雑誌 2004;78(11):989-90	
											E型肝炎	食品衛生研究 2005;55(2):49-51	
											変異型クワイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											変異型クローンフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年3月7日	40歳の男性が平成13年12月にCJDを発症。平成元年に渡英歴あり。の統報。H17年3月5日、厚生科学審議会疾病対策部会にて、感染原因としてBSE肉の摂取が感染原因である可能性が高いと結論。
											変異型クローンフェルト・ヤコブ病	薬食安発第041016号 H17年4月1日	国内初のvCJD症例として確定された事例をうけての、国内での採血時の規制。1996年以前に英国に1日以上滞在した人など、欧州への渡航者からの献血用の採血を見合わせるなど。
											サルパルボウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190:1900-07	サルのパルボウイルス病(SPV)が潜在的な人畜共通の伝染病と考えられる調査結果。マカーク属のサルを取り扱う人の血清サンプルかをウエスタンブロット法で検査したところ、51%サルパルボウイルスに感染していることが判明した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion.2005;45(4):480-86	2002年、米国でウエストナイルウイルスが流行、輸血によって感染した初の症例が報告された。血液センターと共同で1468本の冷凍血漿をウエストナイル熱の多発地域から選択的に回収し酵素免疫測定、核酸増幅試験により調査した。結果、輸血によるWNVVの感染の可能性が示唆された。
											リケッチア症	第57回日本衛生動物学会56S57B05	2004年7月に福井県で感染した紅斑熱患者が、環境要因の異なる南西日本で多発する日本紅斑熱と同一か否か精査したところ、欧州と共通のRickettsiahelvetia(Rh)感染の紅斑熱であることが判明した。Rh感染例としては我が国においては極東アジアでの初確認例である。
											リケッチア症	第57回日本衛生動物学会56S57B05	2004年8月に徳島県で日本紅斑熱患者の飼犬からリケッチア感染が確認された。
											流行性耳下腺炎	Infection Diseases Weekly Report Japan2005年第30週	流行性耳下腺炎が2005年第30週までの小児科定点からの累積報告数は103,692例であり昨年同時期の62,742例を大きく上回っている。また本年15週以降は常に過去5年間の同週の平均値を上回っている。本疾患が過去10年間に於いて4年周期で流行するのと同じであり、2005年が流行年予測されている。本疾患の流行に伴ってムンプスウイルスによる無菌性髄膜炎の報告も増加しつつあり、今後の本疾患の報告推移には十分な注意が必要である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/12	50432	アボット・ジャパン株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	有	無	無	サルモネラ	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2225-7	2001年、オランダの農場にて、異型の鼠チフス菌(DT104A変異株)の、非経口の動物-動物間及び動物-ヒト間の接触感染が示唆された。
2005/9/13	50433	日本シェーリング株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
2005/9/13	50434	日本シェーリング株式会社	インターフェロンベータ-1b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	HTLV	ProMed20050227-0040(Reuters News 2月25日)	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起こすウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある、第12回 Annual Retrovirus Conferenceにおいて発表された。
											HIV	The Lancet 2005;365(9464):1031-8	現在市販されている抗レトロウイルス剤に耐性を示したHIV-1変異株感染例の報告。2004年12月にヒト免疫不全ウイルス1型(HIV-1)感染と診断された男性の症状は20ヶ月以内(おそらくは4ヶ月以内にAIDSに進行した)。
											リンパ性脈絡髄膜炎	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年5月、CDCによると、米国でリンパ性脈絡髄膜炎ウイルス(LCMV)感染の痕跡のある臓器移植患者4名中3名が死亡と報告。ドナーはペットのハムスターから感染した可能性がある。LCMVのヒトヒト感染は、母子の垂直感染以外は知られていなかったが、免疫抑制状態にある臓器レシピエントにLCMV感染臓器外食された場合には重篤な症例になることが示唆された。
2005/9/13	50435	光製薬株式会社	ダルテパリンナトリウム注射液	ダルテパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	コロナウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2005;11(3):446-8	2003年春にSARSの大流行が起こった中国においてブタから分離されたSARS関連コロナウイルス(SARS-Cov)の塩基配列、疫学解析を行った結果、直接的な証拠はないが、ヒトを起源とするSARS-Covのブタへのウイルス伝播が示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/14	50436	東和薬品株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	魚類の軟骨抽出物	アメリカ	添加物	有	無	無	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、曝露から60ヶ月後にBSE感染ウシ由来の脳ホモジェネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は76ヶ月後でも無症状であった。臨床的にBSEを発症したサル(の脳5gを同様に摂取させた研究では44ヶ月後、47ヶ月後に発症した。BSEの異種間の伝播の潜伏期間は同種間の間よりも長いと推測された。
2005/9/15	50437	日本メジフィジックス株式会社	診断薬	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
2005/9/16	50438	日本医薬品工業株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
2005/9/16	50439	社団法人北里研究所	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ハートエキス	クジラ心臓	不明	製造工程	無	無	無			
2005/9/16	50440	社団法人北里研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド	マウス脳乳液	マウス脳	①②日本、③④不明	製造工程	無	無	無			
2005/9/16	50441	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/16	50442	社団法人北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	①～③米国、④～⑥不明	製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50443	東菱薬品工業株式会社	-	ソルコセルル	幼牛血液	オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	有	無	無	エボラ出血 電撃性紫斑病	Emerging Infectious Diseases 2005;11(2):283-90 Clinical Infectious Diseases 2005;40:941-7	2001～2003年にガボン共和国及びコンゴ共和国でヒトで流行したエボラ出血熱について、野生動物のエボラウイルスによる死体を採取し、検査した結果、類人猿のみでなく、小型レイヨウ(牛科)であるduikerからもエボラウイルスが検出された。 2000年～04年、スーパー抗原毒性ショック症候群毒素-1(TSST-1)、レンサ球菌性エンテロキシン血清型B(SEB)もしくはレンサ球菌性エンテロキシン血清型C(SEC)を高レベルで生産する黄色ブドウ球菌が直接関連する電撃性紫斑病の初めての5症例について。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2156-60	1997年の洪水の後、チェコ共和国のLanzhotから10kmの範囲で採集された雌のCulex pipiens(アカイエカ)をネモジネットしたものを混ぜて授乳したマウスの頭蓋内からWNVと深く関係があり、且つ今までに類のないフラビウイルス株(97-103)の抗原性や、マウスの特異的毒性のみならず、完璧なゲム配列と系統的分析について判明した結果について。
											HTLV	PNAS May 31 2005;102(22):7994-9	ヒトT細胞リンパ親和性ウイルスとサルト細胞リンパ親和性ウイルスの系統は明確に関連している。今回、複数のサルト細胞リンパ親和性ウイルス(STLV-1)様ウイルスのヒトへの感染についての報告。
2005/9/20	50444	株式会社フジモト・ダイアグノスティックス	-	ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液	日本白色種家兎皮膚抽出液	中国	有効成分	無	無	無			
2005/9/20	50445	財団法人 化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血清	ウサギ血液		製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50446	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむしウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
2005/9/20	50447	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
2005/9/20	50448	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ワイル病治療血清 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50449	財団法人 化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	肝臓	モルモット肝臓		製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50450	財団法人 化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血液	モルモット血液		製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50451	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ハートエキス	クジラ心臓	捕鯨国: 日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/20	50452	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無	無	無			
2005/9/20	50453	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無	無	無			
2005/9/20	50454	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	脳	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/20	50455	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥ボツリヌス抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液		有効成分	無	無	無			
2005/9/21	50456	持田製薬株式会社	日本薬局方 注射用胎盤性性腺刺激ホルモン	日局 胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿	中国	有効成分	有	無	無	トリインフルエンザ 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 トリパノソーマ症 HTLV 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 マールブルグ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	The New England J of Medicine 2005;352(4):333-40 厚生労働省ホームページ H17年2月4日 The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4 Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005 AABB Weekly Report 2005:11(8):7-8 WHO/CSR 2005年4月21日 Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	2004年タイにおける鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。 2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。 インドで家畜と密着して作業している40代農夫が2004年9月から感覚異常を伴う発熱症状を示し、WHOの専門家による寄生虫学的検査によって、Trypanosoma evansiにより発症したトリパノソーマと世界で最初に公式に確認された。患者は指の傷口から感染した動物の血液による感染の可能性が考えられる。 アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起こすウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性があると、第12回 Annual Retrovirus Conferenceにおいて発表された。 2005年3月、モロッコ当局は、モロッコで最初のvCJD患者であろうと思われる症例について発表した。この男性は国名は不明であるが定期的にヨーロッパを訪問していた様子。現在精査中。 2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。 2005年4月、オランダ保健当局によると、オランダで最初のvCJD患者が確定されたと発表。患者はオランダ以外の国の渡航歴はなく、オランダが牛肉の輸入を規制する1997年以前に感染した様子。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministerio da saude Direccao-Geral da Saude Comunicado, Lisboa (2005年6月9日付)	ポルトガル当局は、ポルトガルで初のvCJD患者を報告した。患者は12才男児。イギリスへの渡航歴はない。CJD共同研究グループのvCJD可能性例の診断基準を満たし、イギリス国立CJD監視機構により確認されている。
											レンサ球菌感染	WHOホームページ 2005年8月3日	2005年6月より、ブタレンサ球菌による感染が中国で拡大。中国当局は206例中38例が死亡と報道。ほとんどの患者は感染前に病気のブタやヒツジを屠殺している。現在のところヒト-ヒト感染の証拠は見つかっていない。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Reuters Foundation Alter Net newsdesk2005年7月29日	2005年7月、スペインで初のvCJD感染によると思われる死亡例。スペイン厚生省によると、確認のため検体は英国のエンジンバラの専門家へ送られている。患者は神経組織を多く含む動物製品を食べ、動物も汚染された餌を摂取していたと考えられている。この場合の潜伏期間は5年～10年と思われる。
2005/9/21	50457	メルクホエイ	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸	中国	有効成分	無	有	無			
2005/9/21	50458	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌荚膜ポリサッカライド	肺炎球菌荚膜	米国	有効成分	無	無	無			
2005/9/21	50459	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	リボヌクレアーゼ	ウシ膀胱	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/9/21	50460	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	デオキシリボヌクレオトリプシン	ウシ膀胱	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/9/21	50461	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	トリプシン	ウシ膀胱	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/9/21	50462	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
2005/9/21	50463	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	ハートインフュージョン培地	ウシ心臓、ウシ骨格筋、ウシ脂肪細胞、ウシ骨髄、ウシ結合組織	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/9/21	50464	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	ウサギ脱繊維血液	ウサギ血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/9/22	50465	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	2005年2月、ニューヨーク市保健衛生局は、抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が2004年12月、高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行したと発表。本症例により注目すべき点は、薬剤耐性のエイズウイルス感染症が確認されたこと、また、疾患の進行が急速であることがあげられる。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	IASR(共同通信2004年12月3日)	2004年12月、大阪府立衛生研究所においてPA法、ウエスタンブロット法で確認検査したところ、在日外国人のHIV-2型感染が確認された。日本でのHIV-2感染例は3例目、遺伝子学的に確認されたのは2例目。
											HIV感染、C型肝炎	FDA Available form 2005Jul 27	2005年7月、FDAからのHIV-1及びHCVのNATの製品廃棄、供血者排除とリエントリーにかかる暫定的ガイドライン案。NATと血清学的検査を組み合わせたHIV-1とHCV用の新しいエントリーアルゴリズムを提案している。
											トリインフルエンザ	The New England J of Medicine 2005;352(7):686-91	2005年2月、ベトナム南部で、呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された。
											バルボウイルス	Transfusion.2005;45(6):1011-9	ウイルスバリデーション試験でのヒトバルボウイルスB19(B19)の感染性の定量的分析のために、B19特異性のLC RT-PCRが開発された。凍結乾燥フィブリノゲンにB19を添加し乾燥過熱処理(100°C)工程におけるB19の不活化効果がB19特異性LC RT-PCRを用いて調査された。凍結乾燥フィブリノゲンの水分含量が乾燥加熱処理におけるB19の異なる耐性と関係しており、ウイルスにとっては水分含量が低い方が熱に対して安定と思われる。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurology 2005 ;64(5):905-7	孤発性CJDが死因と思われたがプリオンタンパク質(PrP)にR208H変異があった患者について検討した結果、R208H変異がPrP ^{Sc} の特性や疾患の表現型には大きな変化を与えずに疾患感受性に影響を及ぼすことが考えられた。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National academy Science 2005;102(9):3501-6	クロイツフェルト・ヤコブ病の診断には構造依存性免疫試験(CDI)を行うとより正確に行える。CDI法はプロテアーゼ処理の必要が無い測定法であるため、プロテアーゼ抵抗性プリオン蛋白(rPrP ^{Sc})もプロテアーゼ感受性プリオン蛋白(sPrP ^{Sc})も両方の異常プリオン蛋白質(PrP ^{Sc})を測定できる唯一のイムノアッセイ法である。